

令和 7 年度中河内二次医療圏病院連絡会結果（概要）

開催日時：12 月 11 日（木） 場所：八尾商工会議所 3 階 大ホール 1・2、小会議室

出席病院：別添一覧

1 地域医療構想の推進に関する意見

特になし

2 病院の将来プランに対し意見のあった病院とその回答

特になし

3 グループ別協議

＜グループごとの協議＞

○八尾・柏原市域グループ

テーマ【病病連携の取組について】【高齢者の慢性疾患合併症への対応】

- ・各病院で毎年医師の異動があり、診療体制に変更がある中で、強み、弱みを持ちながら病病連携をしている。
- ・救急搬送が増えると、満床になり対応できない場合もあり、下り搬送をスムーズに進めるため、地域の医療機関同士で契約して連携搬送できるようにしていくことが必要である。
- ・高齢のリハビリ患者が増加していくが、併存疾患の急性悪化時の対応が自院で困難な場合、病病連携が必要である。

○東大阪市域グループ

テーマ【高齢者救急にかかる連携体制や搬送困難事例数の減少に向けた取組み】

① 高齢者救急における各医療機関の役割と課題

- ・搬送体制の構築や入院パスの活用を進め、病院間で役割分担し、下り搬送していく必要がある。
- ・救急隊が患者の認知症の有無や程度、ACP の情報を搬送時に把握できるシステム作りが必要ではないか。
- ・患者には様々な社会的背景があるので、問題解決には医療と福祉の連携が必要不可欠である。

② 認知症患者の診断や治療体制

- ・新薬の効果がみられる反面、治療可能な病院がまだ少ない。役割分担して治療に対応できる病院を増やすことが必要である。

③ ACP 普及のための取組み

- ・救急搬送の逼迫を防ぐためにも ACP の普及は必要である。
- ・終末期の延命処置の現実を伝えつつ、医療職と患者・患者の家族との意識の差を縮めていくことが大切である。